

助成事業実施報告書

団体名 ばすかるキッズクラブ代表者・役職名 氏名 代表 眞田 規行

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ばすかるキッズ子ども食堂／無料学習会 HACHIMAN

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

大人・子どもとのかかわりを通じて、地域としてのコミュニティとしての子ども食堂を目指しています。

近年、大人と子どもとのかかわりが希薄になりつつある中で子どもたちを地域の大人で見守っていく環境も無くなり、そのような場所も無い中でも子ども食堂の存在が近年増してきて来ているように感じます。昨今の物価高騰により、ひとり親世帯、生活困窮世帯の生活がますます厳しさを増しています。それに加え、ネグレクトなどの家庭内での問題や悩みを抱えている子ども達がいる中で、行政だけでなく、地元の県議会議員や市議会議員の協力を得ながら、支援を行っています。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

子ども食堂実施回数(令和6年4月～令和7年3月)計16回 参加者数 延べ818名

8月4日お医者さん体験、8月7日絵画教室、9月28日クラシックライブ、10月20日モデルロケット製作、12月1日お医者さん体験、12月28日書き初め教室、3月23日モデルロケットワークショップ、3月30日ダブルダッチワークショップ開催に際し、福島市教育委員会、本宮市教育委員会、本宮市社会福祉協議会の後援をいただき開催しました。常日頃から子どもたちに経験や見聞を拡げてほしいと思い、数多くの体験活動を行うことができました。

また、以前から利用されている多子世帯(子ども8人)の生活状況が気になっていたため、12月に福島市議会議員の丹治誠氏を通じて、福島市こども部と連携を図り、見守っていく状況をつくりました。こども部こども家庭課からは以前保護者より相談があったり、行政としての支援も入っているのですが、ネグレクト家庭のため、子ども食堂としても側面支援を継続しながら、こども部こども家庭課との連携を継続していくことになった。福島県議会議員の伊藤達也氏には地域との連携を含めて、県、市、子ども食堂三者がそれぞれの立場で、地域の子どもの成長をも守っていきたいと考えております。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

今回、真如苑様より貴重な助成金をいただき、助成金を活用して、多くの子ども食堂を開催できたことに感謝いたします。昨今の物価高騰は子ども食堂運営に大きな影響を受けております。また、全国に約10000ヶ所の子ども食堂が開設されたことは良いことですが、運営資金の確保が今後の課題となっています。同時に、社会情勢で生活困窮者(ひとり親世帯、多子世帯)の支援は継続的に行う必要があります。そのためには子ども食堂のみならず、地域の方々、行政と一体となって支援に取り組んでいける社会づくりをしていきたいと考えております。4月より新たに放課後子ども食堂を開設します。平日の子どもの居場所づくりも社会の課題として、当団体も向き合いながら運営していきたいと思っております。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

ぱすかるキッズ★子ども食堂 無料学習会「HACHIMAN」

＋ふくしまぬいぐるみ病院(おいしゃさんたいけん)

無料学習会「HACHIMAN」は、長年子どもに携わる仕事をしているぱすかるキッズ★子ども食堂代表が学生・社会人スタッフにお願いをし、宿題の指導、一緒に遊び、一緒にごはんを食べる時間をつくることで、希薄になりつつある子どもと大人とのかかわりを大事にする居場所として月1～2回開催しております。



ふくしまぬいぐるみ病院は、福島県立医科大学の学生によるボランティアサークルです。ぬいぐるみを使った「おいしゃさん体験」をメインイベントとして、子どもたちに楽しく医療に触れたり分かりやすく医療を学んだいしてもらうことで、医療に対する恐怖心を和らげ興味を持ってもらうことを目的として活動しています。

当日行うおいしゃさん体験では、子供達にお医者さんになりきってもらい、実際に白衣を着たりカルテを書いたりしてぬいぐるみを治療してもらいたいと思います！

令和6年度 第3回：8月4日(日) 9:30～12:20

泉八幡神社社務所 (福島市泉字泉川9) 定員20名 小学生対象

※幼稚園児につきましてはご相談ください。

◆各自、夏休みの宿題を持って来てください。

◆お昼ご飯も用意しています。

《お申し込みはLINEからお願いします。》



左にありますLINEQRコードを読み取っていただき、

【標記：学習会申込】①お子さまの名前(ふりがな) ②在籍学校・学年 ③保護者名 ④連絡先

を記入して送信してください。申込締切／8月2日(金)12:00

お願い マスクの着用につきましては、個人の判断とします。尚、体調がよくないときには、お休みしていただくようお願いします。



PASCAL.KIDS.CLUB

Instagramには子ども食堂や無料学習会開催のご案内を随時載せておりますので、フォローをお願いします。

主催・お問い合わせ ぱすかるキッズクラブ

〒960-8254 福島市南沢又字上並松33-9 TEL024-572-4319

協賛 一般社団法人ふくしま未来研究会

協力 福島市子ども食堂NET ふくしまこども食堂ネットワーク

子ども食堂開催の様子

◆8月4日(日)お医者さん体験



◆8月7日(水)絵画教室



◆9月28日(土)クラシックライブ



◆10月20日(日)モデルロケット製作ワークショップ



2024年（令和6年）8月7日（水曜日）

医師のお仕事体験

福医大生ら小学生指導

福 島

子育て支援などに取
組む「ばすかるキッ
ズクラブ」は4日、福
島市の泉八幡神社で学

習会と子ども食堂を開
いた。

地元の小学生約30人
が参加し、熱中症をテ

ーマに医師の仕事を体
験した。福島医大の学
生サークル「ふくしま
ぬいぐるみ病院」のメ



ぬいぐるみを使って医師の仕事を体験する児童

ンバーを講師に、ぬいぐるみを使って聴診器の使い方や喉の状態を確認する方法を学んだ。医大生が児童の夏休みの宿題を教えた。学生のサークル代表の金沢ひらりさん（医学部3年）は「医療や医師の仕事に興味を持つきっかけになればうれ